

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名				消防水利整備事業				②事業番号		1412	
③事業類型		1. 法上(必須)事業				④開始年度		昭和 31 年度	⑤終了予定年度		年度 ○ 設定なし
⑥根拠法令等		○ 法令		条例		規則		要綱		計画等 ○ その他 法令等の名称 消防法	
⑦実施手法		直営		全部委託		○ 一部委託		補助・負担		その他	
⑧関連予算科目コード				款 8		項 1		目 3		細目 1	
⑨担当部名				⑩担当課名				会計 一般会計			
総合政策部				危機管理課							

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	防火水槽や消火栓を設置し、消防力の充実強化を図ることにより、災害発生時に市民の生命・財産を守ることができる。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

②期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	消防用水利の設置は、市町村の責務であり、現況の業務では、成果が十分に果たされているものとする。
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	現状で成果が得られているため
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費＋人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	必要最小限の事業費で執行しているため、削減の余地はない。
--	----------------	------------------------------

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理
	A	— A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要(事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要(事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ア	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止	(年まで) (年から) (年から)
	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など		R3年度は、公用廃止した防火水槽の撤去に向けた工事を行う。
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策		—